

シルバー やまがた

第159号 令和7年7月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,184名 賛助会員 28個人・58団体(5月末現在)



令和7年度定時総会の様子 (撮影 広報部)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|----|-----------------------------|------|------------------------|
| P2 | 令和7年度定時総会あいさつ | P7 | 退任役員紹介 |
| P3 | 感謝状・表彰状受賞者紹介 | P8~9 | 会員のひろば |
| P4 | 令和6年度事業報告
令和7年度重点目標と事業計画 | P10 | 女性部会だより
安全・適正就業推進月間 |
| P5 | 令和7年度定時総会を開催 | P11 | 就業会員を訪ねて |
| P6 | 新役員・専門部会員紹介 | | 新入会員紹介 |
| P7 | 地区世話役・会員互助会役員紹介 | P12 | 事務局からのお知らせ |

令和七年度

定時総会あいさつ

理事長 齋藤 武弘



が八件と近年では最も多い件数になっており、安全対策が急務になっていきます。

であり、センターにはその役割が期待されているものと考えております。

会員・賛助会員並びにご来賓

課題に取り組んでまいりました。

の皆様方、関係機関・団体の皆

最重要課題である「会員拡

大」については、コロナ禍の減

少傾向から回復基調に転じ、年

度末会員数は一、三〇〇人とな

りました。また、女性会員が増

加し四〇一名、全体の三十一・八

パーセントとなっております。

また、表彰受賞者の皆様、こ

の度は誠にありがとうございます

です。これまでのご尽力に心より

感謝申し上げます。

請負事業については堅調に推

移し、契約額が五億円を超えて

おり、シルバー派遣事業につい

ても、新規発注先の開拓に重点

的に取り組んだことなどで、前

年度の昨年度は、「会員拡大」

「就業機会の確保」「シルバー

派遣事業」「安全就業・適正就

業」を推進するとともに、昨年

十一月施行の「フリーランス

法」への対応をはじめとする諸

事項が実現しました。

一方で、傷害事故・損害事故

の延伸にも大きく寄与するもの

な就業機会を確保することは、

山形市が取り組む「健康寿命」

の延伸にも大きく寄与するもの

社会全体では、人口減少、少

子高齢化の中で生産年齢人口の

減少、深刻な労働力不足や経済

規模の縮小、地域社会の担い手

不足なども懸念される状況にあ

ります。そうした中であって、

高齢者の就業者数の増加や就

業意欲の高まりもみられており、

経済社会において、年齢に関わ

らず、意欲や能力に応じた参画

機会を確保し、能力を十分に発

揮できる環境を創っていくこと

が必要になっていきます。

人生百年時代が到来する中、

元気で意欲のある高齢者の多様

な就業機会を確保することは、

山形市が取り組む「健康寿命」

の延伸にも大きく寄与するもの

このたび策定した「第四次中

期事業計画」の基本理念「健康

で『生きがい』『働きがい』が

実感できる 山形市シルバー人

材センター」のもと、高齢者の

豊かな経験と知識を生かした就

業機会を創出し、高齢者の「生

きがい」「働きがい」と「地域

のニーズ」を結ぶことで、会員

の皆様が健康で、人生がより豊

かなものとなるよう、これから

もサポートしてまいります。

公益社団法人として高齢者並

びに地域社会の期待に応えるこ

とができるよう、鋭意取り組ん

でまいりますので、今後とも関

係各位からご支援とご協力を賜

りますようお願い申し上げます。

令和7年度 感謝状・表彰状受賞者

1. 役員表彰 (3名)

役員として、2期以上にわたりセンター発展に多大なる貢献し、退任される方

職 名	氏 名	職 名	氏 名
副 理 事 長	結 城 正 夫	監 事	佐 藤 利 彦
理 事	齋 藤 英 夫		

2. 正副班長及び組長表彰 (4名)

地区班 正副班長及び組長として、5年以上在任し、退任される方

地 区 名	氏 名	地 区 名	氏 名
西 地 区	川 合 仁 三 郎	鈴 川 3 地 区	鹿 野 則 和
鈴 川 3 地 区	小 関 勝	金 井 地 区	志 藤 喜 久 雄

3. 会員表彰 (55名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地 区 名	氏 名	地 区 名	氏 名
第 4 地 区	渡 部 和 秀	滝 山 1 地 区	遠 藤 文 子
〃	石 川 孝 吉	〃	鈴 木 健 治
〃	片 山 忠 悦	〃	三 浦 康 雄
第 5 地 区	樋 口 栄 寛	〃	落 合 直 義
〃	小 山 田 次 郎	〃	土 田 幸 子
〃	須 田 茂 樹	〃	樋 田 恭 子
第 6 地 区	結 城 多 喜 男	〃	岸 正 弘
〃	伊 藤 康 秀	〃	渡 部 幸 一
第 7 地 区	武 田 いく子	〃	後 藤 清 隆
〃	齋 藤 隆	〃	山 川 清 美
〃	奥 山 仁	滝 山 2 地 区	白 崎 康
〃	安 孫 子 由 美 子	〃	大 須 賀 健 二
西 地 区	大 竹 修 一	〃	柴 田 喜 志 子
〃	小 嶋 修	出 羽 ・ 明 治 地 区	安 川 宏
第 9 地 区	長 谷 川 と し 子	金 井 地 区	田 中 和 子
〃	井 上 み ち 子	〃	武 田 俊 一
第 10 地 区	森 永 洋 子	〃	栗 原 米 子
〃	鈴 木 知 子	〃	鈴 木 き み よ
〃	佐 藤 吉 男	〃	高 橋 善 美
〃	佐 藤 正 一	〃	花 等 久 子
〃	鬼 澤 正 典	〃	細 谷 俊 廣
鈴 川 2 地 区	伊 藤 由 紀 子	楯 山 地 区	古 瀬 治 光
〃	吉 野 美 代 子	南 山 形 ・ 本 沢 地 区	尾 形 道 子
〃	高 橋 讓	〃	悪 原 一 彦
鈴 川 3 地 区	加 藤 充 康	〃	小 林 輝 雄
千 歳 地 区	森 勝 彦	南 沼 原 地 区	成 田 巖
飯 塚 ・ 榎 沢 地 区	大 場 章	〃	若 居 徹
東 沢 地 区	高 木 正 子		

令和6年度 事業報告

令和6年度は「山形市シルバー人材センター中期事業計画」の最終年度であり、「会員拡大」「就業機会の確保」「シルバー派遣事業」「安全就業・適正就業」に取り組みました。会員拡大については、中期事業計画の目標には達しなかったものの、コロナ禍の減少傾向から回復基調に転じ、年度末会員数は1,300人となりました。また、女性の会員数と比率が増加し、女性会員数は401名、比率は初めて3割を超えました。

事業実績は、請負事業においては堅調に推移し、契約金額は前年度より3千300万円増の5億3千万円となりました。派遣事業は、上期においては前年度を下回る実績で推移しましたが、新規発注先の開拓に重点的に取り組んだことなどで、契約金額は前年度対比400万円増の1億4千100万円となりました。（詳しくは令和7年度定時総会議案書をご参照ください。）

令和6年度事業実績

項目	6年度実績	5年度実績	比較
正会員数	1,300人	1,286人	14人
契約金額	531,420千円	498,063千円	33,357千円
就業延人数	112,050人	110,912人	1,138人
受託件数	5,056件	4,966件	90件
派遣事業 契約金額	141,424千円	137,270千円	4,154千円

（詳しくは令和7年度定時総会議案書をご参照ください。）

令和7年度 重点目標と事業計画

人口構造や高齢者の就労確保をはじめとする就労環境も大きく変化する状況の中、シルバー人材センターでは、会員の拡大や就業機会の確保に加えて、インボイス制度へのさらなる対応、フリーランス法施行に関連した契約方法の見直し、公益法人認定法改正に則した財政運営の柔軟化やガバナンスの充実など、今後も様々な課題への対応が必要となっています。

当センターではこのたび、「健康で『生きがい』『働きがい』が実感できる 山形市シルバー人材センター」を基本理念とする、「第4次中期事業計画」を策定いたしました。令和7年度においても、「自主・自立、共働・共助」のシルバーの基本に立ち、高齢者の豊かな経験と知識を生かした就業機会を創出し、高齢者の「生きがい」「働きがい」と「地域のニーズ」を結ぶことで、会員が健康で、人生がより豊かなものとなるようサポートするとともに、公益社団法人として地域社会の期待に応えることができるよう、会員並びに関係機関等と連携してセンターの事業を推進してまいります。

（詳しくは「第4次中期事業計画」並びに「令和7年度定時総会議案書」をご参照ください。）

重点目標

1. 会員の拡大と魅力あるセンターづくり
2. 就業機会の拡充と会員の資質向上
3. 安全就業と適正就業の推進
4. 組織の充実と連携の強化
5. 事業運営基盤の強化



令和7年度定時総会を開催

六月十日（火）ホテルメトロポリタン山形において令和七年度定時総会が開催されました。

結城副理事長の開会挨拶、斎藤理事長の挨拶、来賓各位の挨拶後、引き続き感謝状と表彰状の贈呈が行われました。

事務局より定足数報告があり、出席者九七名、委任状による議決権行使者八〇五名、合せて出席者は九〇二名となり、会員総数一、一八四名の七六・二％に達し、総会は成立しました。

議長に高野昭英会員（西部地区）を選出し、議事が行なわれました。

報告事項 第四次中期事業計画他四件、議案事項二件及び役員改選について、事務局長より議案の主旨説明があり、審議の結果、満場一致で承認されました。

定時総会及び臨時理事会において、役員改選に伴う新理事・新監事（六頁参照）も就任し、令和七年度定時総会は滞りなく終了しました。公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（認定法）の改正に伴い、今回の役員改選において外部監事を一名選出しました。

退任される役員・監事・世話役各位は会員増強やコロナ感染症対策等、センター事業発展のため率先してご尽力を賜り大きな成果を挙げられました。長きにわたり、ありがとうございます。



役員受賞者



世話役受賞者



会員受賞者



総会風景

新役員紹介

理事会



理事長(代表理事)
齋藤 武 弘



副理事長(代表理事)
平山 尚
(滝山一地区)



常務理事(業務執行理事)
石川 一 幸



理事
平吹 史 成
(市推薦)



理事
高瀬 謙 治
(市社会福祉協議会推薦)



理事
増子 俊 昭
(市都市振興公社推薦)



理事
福田 美知子
(金井地区)



理事
岸 英 一
(西部地区)



理事
原田 好 雄
(鈴川三地区)



理事
岸 純 一
(第十地区)



理事
齋藤 隆
(第七地区)



理事
土田 トク子
(滝山一地区)



理事
大友 智恵子
(山寺・高瀬地区)



理事
高橋 眞 一
(第一地区)



理事
金澤 忠 次
(第二地区)



監事
石山 昌 之
(千歳地区)



監事
武田 吉 浩
(市社会福祉事業団推薦)

専門部会

◎は部会長および委員長
○は副部会長および副委員長

《総務部会》

◎ 福山 美知子
○ 平田 尚

◎ 永橋 憲昭
○ 土屋 吉広
◎ 安部 佳也
○ 渡邊 智雪
◎ 平吹 史成

《事業部会》

◎ 原田 英一
○ 海谷 正弘
◎ 遠藤 好雄
○ 上山 恵子
◎ 會上 美枝子
○ 増子 俊昭

《広報部会》

◎ 岸藤 純一
○ 齋藤 洋子

《女性部会》

◎ 土田 トク子
○ 大友 智恵子
◎ 伊藤 美喜子
○ 大友 美智子
◎ 遠藤 久枝子
○ 斎藤 晴美

《安全就業推進委員会》

◎ 高橋 眞一
○ 高橋 忠次
◎ 金澤 誠一
○ 小関 隆吉
◎ 遠藤 裕一
○ 荒井 美也子
◎ 河合 美子
○ 佐藤 勝雄
◎ 小口 功一
○ 小島 美栄子
◎ 畠中 謙治

◎ 岩井 純一
○ 中村 洋子
◎ 海林 敏強
○ 小林 好一
◎ 高橋 直樹

〔寄稿〕

お米



滝山一地区
結城 正夫

今、お米の値段が高騰して家計も大変です。お米を少し考えたいと思います。「米」という漢字が八十八と書くのは、八十八回の手が掛かるからだそうです。加賀百万石、最上五十七万石という「石」は今では使われなくなりましたが、一石が十斗で

あり百升であり千合であることは忘れ去られようとしています。現在は、一石＝一五〇kg＝一八〇ℓ＝米二・五俵であります。それでは、お米一合の単位はどうやって決めたのだろうか。

昔は一日二食だったので、一日三合を食べるとします。江戸時代は太陰暦で一年三百六十日、×三合で千八十合となる。これは約一石（千合）です。一石あれば一年は十分食べていけると言われていました。

昔、一反は三百六十坪で、コメの一年間の収穫量も今より少なく約一石でした。（太閤検地で一反は三百坪になったようです）つまり一坪の収穫量は一人の人間が一日で食べる米の量だったのです。要は一人の人間が一年で食べる米の量を基準にして、一回で食べる量の単位が「合」になったのではないかと、私見ですが思います。そして一石の米の代金が時代で価値が変

三連覇をめざして



第二地区
金澤 忠次

わかりますが、おおよそ一両が目安でした。私たちは先人たちに教えられる事がたくさんあります。伝えていくのも仕事です。

ボウリング大会の優勝は、「集中心」と「ラインの取り方」を課題に持って取り組んだ成果と感じています。

まず、バランスよく視線と体幹を合わせることが大切です。エアースイングで得た自分のフォームで、リラクセスした状態で自然な体感を調整できるようにになります。これにより投球に対する自信が深まり、より良いしつかり転がせるリリースという結果が得られるようになります。次に、板目の感覚を数値化して敏感に読み解くことが鍵

になります。

ボウリングは、ボールがどのようににレーン上を進み転がるかを正確に把握することが必要です。そのためには、脱力スイングを実践することでリズム感や集中心を高めることができます。このような感覚を日頃の練習で磨くことで、投球の精度が高められより戦略的な投球が可能になります。

このような要素を意識しながら今大会に臨んだことで、優勝することができたと思います。集中心を高めながらラインイメージを明確に持つことで、結果として素晴らしいパフォーマンスを引き出すことができたこと感謝しております。

終わりに、次回はマイナス六〇ピンのハンデですが、三連覇を目指し真剣に頑張りますので、引き続きよろしくお願いたします。ご声援ありがとうございます。



つながり

多員の健康・趣味

鉄道の旅を楽しんで



第九地区
那須 満子

シルバー人材センターに入会して、今年で十年目に入りました。

最初に紹介された仕事は、サービス業だったので、お休みが少なく、家族と一緒に出掛けることもなかなか出来ず、友人とランチに行くこともあまりできませんでした。

今回職種が変わり、十分休みがあるので、やっと前から行きたかった鉄道の旅ができると思いい、予定を立てました。

連休を利用し、三陸鉄道の旅を計画しました。青森の八戸まで行き、三陸鉄道に乗り、ゆっくりと海岸を見て、楽しむ予定を立てました。

行きと帰りの電車と、見学したい場所を二〜三ヶ所ピックアップし、行き当たりばったりの予定を組み、急がず、ゆっくり旅をすることを目標に楽しんできたと思います。

これからも、シルバーさんと一緒に、元気で仕事をし、東北の旅を楽しみに頑張っていきたいと思っております。



「じとば」との出会い



金井地区
菱河 美子

十年以上前、「じとば」という名の山野草を知人からもらった。固い緑のツンツンと髭のような葉だった。黄色の可愛い花が二輪、葉の間から顔をのぞかせていた。毎年、春になれば咲くものと思っていたけれど、あまり記憶にない。春先から初夏の、色とりどりの花々のほうにだけ、心が向いてしまっていた。

それが今年、一輪花を咲かせたのだ。二年前、「紫つゆ草」と「おきなくさ」を「じとば」の鉢に仲間入りさせた。シル



緑の葉が、朝の光で黄色に映りました

バー人材センターの施設巡りで、野草園へ行った時のおみやげだった。花はすでに終わっていたので、来年は咲かせたいと、土を増して固形肥料も与えた。

翌年、「つゆ草」が、気品のある紫色で咲いてくれた。本当は、長い名でもう一種植えたのだが、根付かず枯れてしまった。「ホワイトレース○○○○」という名だったかも。

けれど、今年は「じとば」が咲いた。他の二つも株が増えたり、根元も太くなった。とても楽しみになってきた。

今さらながら、「じとば」の正式名を調べると、「春蘭」通称「ジジババ」とあった。花の下部が、おじいさんの白髭に似ていることにちなんでいるらしい。縁起が良さそうだ。春の出番待ちの山野草たちが、毎年、楽しみになってきた。

女性部会だより

女性部会長 土田トク子

今年二月に、市長より市の児童福祉関係者の方々、施設の方、センター理事長、課長出席の中、代表で感謝状をいただきました。

昨年十月にシルバーの文化祭で三日間、女性部会員がバザーを開催しその売上金三万円とタオル五十枚を十二月に児童養護施設に寄付をさせていただきました。感謝状です。

会員の皆様から、バザーへのご協力、一年を通して未使用のタオルを寄付いただいた中から選びました。施設への寄付は今年で十三回目になります。長きに亘り先輩方が続けてこられた奉仕活動と携わった方々に敬意と心からの感謝をしながら今年も感謝状をいただきました。

入浴で使用してもらいたいと可愛らしい絵柄のタオル、バスタオルと未就学児のお子さんには、年末の大掃除に使いやすいハンドタオルをと、笑い声で賑

やかにお手伝いをしていいる姿を思い浮かべながら箱に詰めました。

後日、施設長よりお礼のお言葉と体調不良時の児童の楽しみにと、寄付金でDVDプレイヤーを四台購入してさっそく活用しているそうで余暇環境が充実し、楽しい冬休みを過ごしたようです。一緒にDVDプレイヤーの写真も添えられています。

シルバー会員の皆様の善意が楽しい生活に役立っていることに嬉しく思い、また、女性部会も皆様にご協力をいただきながらこれからも共に活動が続けていきたいと思っております。



こちら4台を購入させていただきました

安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 高橋 眞一

令和七年度スローガン

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」

令和六年度は、事故ゼロを目標に事故防止活動に取り組んでまいりましたが、残念ながら就業中に八件の事故が発生しております。内訳として傷害事故が五件で、その他草刈り作業中の刈払機による物損事故が三件でした。

【強化月間の取り組み事項】

- 一 安全就業推進委員会の開催
 - 二 事故ゼロを目指した活動の推進
 - ・ 定期パトロール、不定期パトロールの実施
 - ・ 安全保護具の完全着用の徹底(安全帽・安全带等の装着)
 - ・ 機械器具、安全保護具の点検整備
 - ・ 緊急連絡カードの携帯徹底
- 三 安全意識高揚策の充実
- ・ 安全標語の募集と優秀作品の表彰及び安全講習会の開催
 - ・ 事故再発防止対策の徹底
 - ・ 「重大事故速報」や「安全就業推進委員会だより」の発行で再発防止の喚起
- 四 会員の健康管理意識高揚
- 五 総合健康診断の受診を推奨
- 就業途上の交通事故防止

会員のほうが健康で就業出来ますように、事故の発生した就業場所を中心としたパトロールや各地区班及び、職群班とともに連携協力を密にし、事故防止活動に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、七月は「全国安全・適正強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・各地

就業会員を訪ねて

佐藤 修士

J Aやまがた福祉センター青田

山形市立南小学校の西側約二百五十mの閑静な住宅街の一角に「J Aやまがた福祉センター青田」があります。毎日、二十人から三十人ほどの方々が、デイサービスを利用されています。

会員の佐藤さんは車の二種免許ももちで、現役時代の経験を生かしながら、週五日、朝夕の二回、利用者の方の送迎業務に当たられています。一週間に約二十時間の勤務です。

仕事は、送迎の車の運転と利用者の方が乗降する際の介助に加え、送迎車の清掃点検等もなされています。

佐藤さんは、常日頃、命を預かる責務と利用者の方々の体の負担にならないよう、十分な配慮をすることを心しているそうです。

法定速度順守はもちろん、道路状況や天候に応じた適正速度で、急ブレーキなし、



(取材 広報部)

衝撃なしの優しい運転と、利用者のお年寄りの方々に負担をかけない快適な運転に心掛けていらつしやいます。私たちも見習わなくてはと思います。

「職場の職員の方々は和気あいあいと和やかで、報連相も確実なので、いつも笑顔で働けることに大きな喜びを感じる。」と佐藤さんは笑顔でおっしゃっていました。

新入会員紹介

千歳地区	鈴川三地区	鈴川二地区	鈴川一地区	第十地区	第八地区	西地地区	第七地区	第六地区	第五地区	第三地区	第二地区	第一地区																							
門脇	栗野	遠藤	中村	武藤	古渡	井上	小玉	森谷	荒井	荒井	吉田	阿部	佐藤	真木	大場	高橋	佐藤	丹野	五十嵐	高橋	竹田	本多	梅津	鈴木	安達	江口	高橋	鈴木	庄司	石橋	武田	齋藤	会田	鈴木	岡崎
徹	縫	保	昭	憲	英	さ	康	せ	昌	三	典	真	則	国	敦	俊	文	肇	悦	壮	よ	淳	須	恭	啓	博	孝	泰	充	千	喜	泰	幸	啓	
南沼原地区	南山形・本沢地区		蔵王地区		楯山地区	山寺・高瀬地区	金井地区	出羽・明治地区	滝山二地区	滝山一地区	東沢地区	飯塚・樫沢地区																							
丹野美奈子	滝口ケイ子	三沢則子	小笠原広美	鈴木栄治	黒田栄治	西田栄治	安部啓一	米屋幸美	高橋和子	寒河江恵子	鈴木藤二	大栗保男	齋藤啓子	齋藤智子	高橋智子	佐藤栄七	中野眞市	滝口吉郎	檜野静子	阿部恵	佐藤正秀	齋藤勝己	川田信幸	森谷勇治	黒沼シズ子	阿部正男	丹野正弘	佃弘	石山千賀子	武田和子	行仕和子	長沼正美	八巻たか子	推名恵子	木村正志

事務局からのお知らせ

新事務局職員紹介



令和七年二月より
主事
小澤 亮

事務局紹介

常務理事(兼)事務局長 石川 一幸
業務課長 菅野 千春

業務係

主任 原田 弘之
主事 小澤 亮

嘱託職員 平田 悦一
嘱託職員 奥山 専弘
嘱託職員 平澤 彩佳

総務係

係長 斎藤 康子
嘱託職員 後藤可南子
嘱託職員 佐藤 裕美

山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)33(6)4716647

URL: <https://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

お知らせとお願い

配分金支払日

七月十八日(金)
八月二十日(水)
九月十九日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

七月一日(火) 十日(木)

二十二日(火)

八月四日(月) 十八日(月)

二十六日(火)

九月四日(木) 八日(月)

二十五日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に關しての相談です)

七月九日(水)

八月六日(水)

九月十日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。
予約等できませんのでご了承ください。

地域の総合健診は必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

090-6255-5301

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

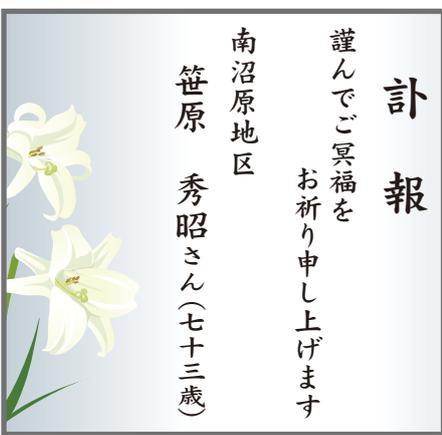
また、会員証と一緒にお渡りする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

南沼原地区

笹原 秀昭さん(七十三歳)



あとがき

「巨人・大鵬・卵焼き」は、会員の多くが小中学生の頃に子供が好きなものとして流行った言葉ですが、懐かしく思い出されます。

その高度経済成長期の真っ只中、巨人軍で大活躍した名選手、長嶋茂雄氏が、ご逝去されました。氏は現役引退後も、野球を通して人々に勇気・笑顔・元気に明るくされる優しい言葉と茶目っ気のある振る舞いで、野球ファンに留まらず多くの人達が前向きになれる希望を与えてくれました。これからは黄泉の国で安らかに眠りください。

今号は、定時総会の記事を中心に、新役員・地区世話役の紹介など、増ページして掲載しました。広報部員も交代期で、次号より三名のメンバーが入れ代わっての発行となりますが、引き続き皆様からの投稿を宜しくお願い致します。今年の夏も、平年よりも高い気温が予想されており、熱中症対策に留意しながらお過ごしください。

(T・S)